

1. 調査目的

この調査は、男女共同参画についての県民の意識を把握し、今後の男女共同参画行政を推進するための基礎資料とすることを目的とする。なお、一部の設問において昭和55年、60年、平成2年、7年、12年、17年、22年、27年、令和2年に実施した「男女共同参画に関する県民意識調査」の調査結果との経年比較を行った。

2. 調査の項目

- | | |
|--------------|-------------------------|
| (1) 男女の地位の平等 | (4) 女性の社会参画 |
| (2) 家庭生活等 | (5) ドメスティック・バイオレンス(DV)等 |
| (3) 職業 | (6) 男女共同参画社会の実現に向けて |

3. 調査の設計

- (1) 調査地域：石川県全域
- (2) 調査対象：石川県に居住する満18歳以上の男女
- (3) 標本数：2,500人
- (4) 抽出方法：層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法：郵送法（配布：郵送、回収：郵送またはインターネット回答）
- (6) 抽出台帳：住民基本台帳
- (7) 調査時期：令和7年1月29日～令和7年2月17日

4. 標本構成

(1) 層化区分

○地域

各地域の市町は、首都圏など大都市圏と異なり、人口的に大きな差がないため、市郡規模での層化は行わず、市町を第一層、各市町内の町を第二層として層化抽出を行った。

(2) 抽出の方法

- a) 第1次抽出単位となる調査地点として、現行市町を使用した。
- b) 調査地点の抽出数については、1調査地点あたりの標本数が6程度になるように、標本数より算出し、決定した。
- c) 調査地点の抽出は、層内での抽出地点数が2地点以上割り当てられた層については、等間隔（層内の該当調査区の人口数合計を調査地点数で除すことにより算出）抽出法によって行った。
- d) 各調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・街区・番地等を指定）より、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。

(3) 標本数の配分

各地域、市町規模の層における指定母集団数（令和5年10月1日現在の満18歳以上の人口数）より、2,500の標本を比例配分した。

地域区分	市町名	抽出地点数	対象者数
能登北部	輪島市	9	54
	珠洲市	5	30
	穴水町	3	18
	能登町	6	36
能登中部	七尾市	18	108
	羽咋市	8	48
	志賀町	7	42
	宝達志水町	5	30
	中能登町	6	36
石川中央	金沢市	168	1,006
	かほく市	13	78
	白山市	41	246
	野々市市	21	126
	津幡町	14	84
	内灘町	10	60
南加賀	小松市	39	234
	加賀市	24	144
	能美市	18	108
	川北町	2	12
計		417	2,500

5. 回収結果

有効回収数は1,102票（44.1％）であった。各地域別の回収数（率）は次の通り。

地域	対象数	有効回収数（率）
能登北部	138	53（38.4％）
能登中部	264	124（47.0％）
石川中央	1,600	704（44.0％）
南加賀	498	216（43.4％）
地域不明		5（－％）
合計	2,500	1,102（44.1％）